



ディンプル取替シリンダー LS5/LS4/LS3

取付説明書 及び 錠前取扱上の注意事項

本書は必ず御施主様または御入居様で保管して下さい。

当社製品をお買い上げいただきありがとうございました。製品を永く安全にご使用頂くために、この取扱上の注意事項を必ずお読み頂き、正しくお取扱い下さい。また、本書はいつでも見られる所に保管して頂きますようお願いいたします。



● 作業中・使用者の傷害防止のために

- ①扉は取替作業終了まで半開きの状態で固定して下さい。作業中に扉が閉まると入室できなくなる恐れがあります。
- ②取替作業中は作業員以外が周辺に近づいたり、立ち止まらないように注意して下さい。
- ③錠前の受け金具(ストライク)の穴に指を入れしないで下さい。指を切る恐れがあります。
- ④錠前のハンドルやデットボルト、ラッチボルトにぶつからないように気を付けて下さい。当たって怪我をする恐れがあります。
- ⑤ハンドルやノブ、シリンダーなどにぶら下がったり、足場にしたり、物を引っ掛けたりしないで下さい。危険なばかりか錠前が正常に機能しなくなる恐れがあります。
- ⑥指定以外のネジを外したり、錠前及びシリンダーの分解はしないで下さい。中の部品が飛び出して怪我をしたり正しく組立て直すことが出来なくなることがあります。

● 錠前の損傷防止のために

- ①鍵穴に油や異物を入れしないで下さい。異物が詰まると鍵の操作ができなくなります。鍵の抜き差しや回転操作が悪くなったら、鉛筆(軟らかい芯)の粉や黒鉛粉を鍵穴に入れて下さい。油は注入直後は良くてもホコリを吸着しかえって動きを悪くしますので絶対使用しないで下さい。
- ②シリンダーは時々、やわらかい布で空拭きする程度の掃除をして下さい。シリンダーの表面に汚れ、ホコリなどを付着したまま放置しますと変色、腐食の原因になります。洗浄の際、酸やアルカリ、塩素などの化学薬品等で洗浄しないで下さい。また直接水をかけないで下さい。
- ③複製キーをご使用した際はキーのバリ、精度によってはシリンダーの作動へ影響をおよぼすことがありますので注意して下さい。

● 盗難、悪用防止のために

- ①施錠忘れによる盗難が多々ありますので、施錠の際は必ず確認して下さい。
- ②錠に使用場所が分かる表示を付けないようにして下さい。紛失時に悪用される恐れがあります。
- ③スペアキーは大切に保管、管理しておいて下さい。

● その他

- ①取替えが困難になった場合は、取替え作業を中止し、元の状態に戻して、ご購入店までご相談下さい。
- ②錠が回らない故障が発生した時には速やかに管理事務所、施工業者にご相談して下さい。
- ③スペアキーをご注文される際は、ご購入店まで申し付けをお願いします。

取付方法 MIWA (美和ロック) HPタイプ

梱包内容



シリンダー HPタイプ
1個



ジョイントハブ
1個



キー
LS3⇒3本
LS4⇒4本
LS5⇒5本



取付ネジ
2個

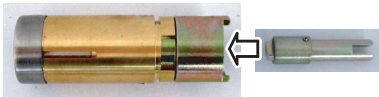
1 <適合確認>

- 内部側ケースに刻印 MIWA (美和ロック) と下記のいずれかの型番刻印があるか確認して下さい。
[HP40],[HPD40KJ],[HPL40],[77HP27],[77HP30],[77HP40]
- 適合扉厚は 33~36mmです。

(注意1) 扉は取替が完了するまで開けた状態で閉まらないようにして下さい。
(注意2) 軍手などを装着しケガの無いように注意して下さい。
(注意3) シリンダーからキーを抜いた状態で取替え作業を行ってください。

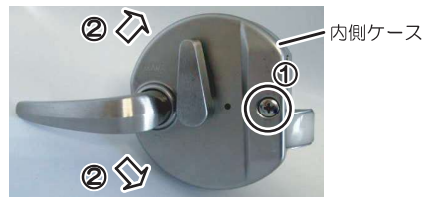
<取付準備>

- シリンダーにジョイントハブを差し込みます。



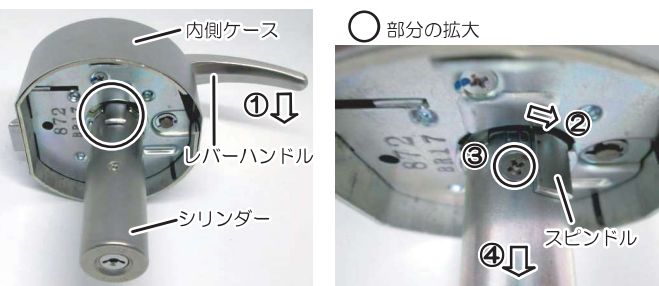
2 <内側ケースの取外し>

- 下記のO印のネジを外します。(①)
- 内側ケースを右or左に10~20度傾け(②)、内側ケースをゆっくと引き抜きます。



3 <シリンダーの取外し>

- レバーハンドルを下に下げます。(①)
- レバーハンドルを下げたまま、スピンドルを左or右にずらします。(②)
- スピンドルの下に隠れていたネジを外します。反対側のネジも同様に外します。(③)
- シリンダーをゆっくと引き抜きます。(④)



4 <シリンダーの取付>

- 新しいシリンダーを"AGENT"刻印が上になるように内側ケースにはめ込みます。(ジョイントハブの凹部と内側ケースの凸部を合わせます。①)
- レバーハンドルを下に下げます。(②)
- レバーハンドルを下げたままスピンドルを左右にずらして取付ネジでシリンダーを固定します。反対側も同様にします。(③)

<内側ケースの取付>

- ②の逆の手順で内側ケースを取付ます。
注意: シリンダー挿入口には2カ所切り欠きがありますので(④)この切り欠きにスピンドルが納まるようにシリンダーをはめ込みます。
- 取付後、扉を開けた状態で必ず動作確認を行ってください。

